クラス	106	担当教員	千頭　聡
		テーマ	「めざせ！地球市民 PART1」一環境・地域・学習の視点から
		著書･論文 研究課題等	＜著書＞　「地域発！ストップ温暖化ハンドブック」「地域計画第二版」「環境計画論」 ＜論文＞　「ラオス北部焼畑地域における土地利用政策の効果と課題」 「持続可能な都市に向けた市民学習システムの可能性ーなごや環境大学の到達点と課題ー」 「ビジターズペイバック：イギリス湖水地方における環境影響軽減のためのしくみを取り巻く課題」 ＜研究課題＞　海外では、ラオス焼畑地域を対象として、森林資源の管理と持続可能な地域開発のあり方について、現場から実証的に研究。国内では、中部圏と関西圏で、市民・企業・行政の協働や環境まちづくり、持続可能な開発のための教育(ESD)に関して、数多くの現場で研究実践中。

ゼ ミ ナ ー ル 概 要

キーワード：　環境、地域開発、ＥＳＤ、市民参画、ラオス

目的、内容、方法等：

【目的】

21 世紀の地球が直面している大きな課題は、持続可能な開発を通じて、低炭素社会や環境共生型社会を実現していくことです。この課題は先進国、発展途上地域を問わず共通ですが、問題解決へのアプローチは多様です。マクロに地球全体のことも考えることも大切ですし、発展途上地域や日本の地域に根ざしたボトムアップの取り組みも重要です。専門演習では、持続可能な開発のために、地域と世界、日本や先進国途と発展途上地域がそれぞれどう取り組んでいけばいいかを、自然科学的、社会科学的の両方の視点から実証的に考えて生きたいと思います。そして、このような社会を実現できる「地球市民」とはどのような市民なのかについて、様々な角度から考えていきたいと思います。

【演習ではなにをどうするか】

まず学生が現在の興味、関心事項についてプレゼンをしたあと、数回にわたりゼミ内で議論をし、その後、再度テーマの検討・修正を行います。現段階でのテーマ案は以下のとおりですが、あくまで包括的な例示です。

・インドシナ半島における地域開発と環境保全、メコン川の開発と環境
・ラオス焼畑地域のくらしと発展、森林利用と保全、土地利用
・身近な環境づくりと市民活動、環境に対する市民意識と行動
・環境学習、持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）
・生物多様性にどう取り組むか、企業の取り組み、
・エコロジカルな都市づくり、物質循環に果たす都市内農地の役割
・都市と中山間地域の交流、過疎地域の振興

【めざすこと、めざすもの】

次のことを目標にしたいと思います。

〇資料を分析したり、まとめたりする力を培います。
〇周りの人の意見をきちんと聞き、自分の考えも発表しながら、コミュニケーション力を培います。
〇「地球市民」になるための第一歩を歩み出せるようになります。
〇自分の社会的なネットーワークを広げます。

授業計画：

・学生によるプレゼンおよびワークショップ：自己の関心や問題意識を高めるために
・テーマ設定：基本的には個人ごとにテーマ設定しますが、共同研究もＯＫ
・演習時間には、学生による問題提起とワークショップ形式による討論を行ないます。
・ゼミ全体でとりくむテーマを別途設定することもあります。

使用テキスト

参考テキストは別途指示する

担当教員からのメッセージ

【大切にしたいこと】

演習は、教員である私と、学生であるみなさんとの協働（共同）作業です。一緒にワイワイガヤガヤ作業しながら、でも、真剣に議論しながら、１年間進めたいと思います。したがって、遅刻や無断欠席は当然絶対禁止です。演習では、「お客様」にならずに、みんなが主役として互いにいい部分を活かしあいましょう。

【地域での実践的調査研究へのお誘い】

千頭は、中部圏の様々な地域で、市民・企業・行政と一緒になったまちづくりや環境づくりの活動にかかわっています。また、なごやを拠点に、「なごや環境大学」という、市民・企業・行政の協働による日本最大の環境学習システムの運営に参画したり、国連大学が認定した持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）の中 部拠点の運営などにも関わっています。さらに、地元知多半島の各市町（半田市、東海市、大府市、美浜町など）、豊田市、瀬戸市、多治見市、名古屋市、尼崎市、宮田村など、いろいろな地域のまちづくりや環境に関する活動に関わっています。特に今年度からは、名古屋市のスーパーを舞台に、消費者の行動 を低炭素型へと変換する大規模な社会実験を行います。ぜひ、学生の皆さんにも参加してもらいたいと考えています。